

食の安全安心セミナー（大崎会場）アンケート結果

セミナー参加者：31名，うち回答者：27名（回答率87.0%）

- ①性別 男性：9名 女性：18名
- ②年齢 20歳代：3名 30歳代：6名 40歳代：6名 50歳代：7名 60歳代：3名
70歳代以上：2名
- ③職業 消費者（団体含む）：5名 食品関連事業者：2名 生産者（団体含む）：0名
行政関係者：14名 その他：6名（栄養士，会社員，病院など）

問 説明内容は理解できましたか。

できた：6名 ほぼできた：19名 あまりできなかった：2名 できなかった：0名

あまり理解できなかった理由

- ・難しい言葉がたくさん出てきて理解に困った。友達等に話すにも簡単な言葉で説明して欲しい。
- ・農薬の安全性はどのような方法で確かめられているのか。数値のみかたなど，短時間での説明では少し内容量が多く，理解して話しを聞くのは大変だった。

問 今後聞いてみたい「テーマ」や食の安全安心について関心がある内容があれば記載してください。

- ・ノンカロリー食品に含まれる甘味料について
- ・輸入食品の安全性（残留農薬の量など）
- ・自然界における食物に含まれる放射線量と体に与える影響
- ・福島原発事故後の食物に与えた放射線含有量の時間的経過
- ・加工肉（ベーコンやハムなど）の安全基準
- ・放射性物質が水源地に保存された場合の食に対する影響について
- ・祭り，イベント等における仮設店舗等の食品調理等に伴う衛生管理について
- ・トランス脂肪酸をはじめとした油脂（成分，酸化，安定性，特性，種類）について
- ・人工甘味料について
- ・食中毒に関する留意点について
- ・遺伝子組み換え食品
- ・放射能汚染食品

問 本日のセミナーにおいてご意見等があれば記載してください。（自由記述含む）

- ・農薬の安全性について理解できたが，一般の方が理解するには難しいのではないかと感じた。
- ・食品表示法の説明は理解しやすく整理されていたかと思う。
- ・セミナーの内容も資料もとても良いので，読み返そうと思う。
- ・TPPの合意により海外の多くの食品が店頭に並ぶ日が近いと思われるが，輸入食品の水際でのチェック体制がいまいち分からないので，その辺の説明もあると安心できる。
- ・平日の昼間の開催は参加が難しい。周知のPRが不足している。

- ・消費者庁のホームページで理解が出来なかった部分について、セミナーを受講して理解することができた。
- ・農薬の安全性について分かりやすい内容だった。特に短期暴露の評価が分かりやすかった。
- ・病院で患者さんの個別指導をしていると、自分の食生活の改善を改めることなく体に良いとされるものを摂取している方がとても多い状況です。保健機能食品と一般的な健康食品の区別が重要だと分かりました。しかし、保健機能食品だからといって摂取した分だけ健康になると理解している方も多く、過剰摂取に伴うリスクがあることを感じています。
- ・食品表示法に関しては表示例も多く分かりやすかった。農薬の安全性については興味があったが、ボリュームが多くもう少し時間をかけて説明してもらえると良かった。

以上